

まくせのやしろ
万九千社
たちむしじんじや
立虫神社

社報

神戸の郷

第八一号 令和四年秋「発行」

令和四年九月吉日

代宮家
(錦田)

今季の祭

立虫神社

秋祭り

季節は早いもので実りの秋を迎えようとしています。

疫病の災いが未だに続いています
が、感染防止策をとりながら、二日
にわたる恒例の秋祭りを皆様共々心
を込めてお仕えしたいと存じます。

秋祭りは、稲をはじめとする農作
物が豊かに収穫できたこと、農業を

はじめ、工業、商業など全ての産業
が順調に運んでいること、日々の平
和などを氏神さまに感謝し、これか
らもお護りいただくようにお祈りす
るお祭りです。

氏子地域に住む全ての人々が心を
合わせて奉仕する、一年で最も重要
なお祭りで「大祭」と呼ばれます。

なお、神さまと神社の側から言え
ば、縁あって併川に暮らす全ての人
々が「氏子さん」です。どなたでも
遠慮なくお参りい
ただき、神さまに
感謝と祈りを捧げ
ましょう。



十月一日(土)

一、長寿感謝

健康祈願祭

午後一時より

長寿をお祝いし、神さまに感謝し、

これからの更なる健康をお祈りする
祈願祭です。

数え年七〇歳以上のどなたでも参
列できますので、詳しくは別紙案内
状をご覧のうえ、九月二十八日まで
に社務所へ直接お申し込み下さい。

なお、参列時には男女を問わず、
服装は礼を失しない自由な服装(平
服)で結構です。お気軽にお詣り下
さい。

一、子禱神事

一、氏子入り奉告祭

午後二時より

令和三年八月一日から今年の七月
三十一日頃までに誕生された神立千
家の子供さんとその家族が参拝し、
新たな氏子として健やかな成長をお
祈りします。

また、昨年の秋祭り以後、新たな
氏子として年間の神社維持負担金を
奉納された皆様にも昇殿いただき、

御神前にその旨を奉告し、末永い幸せをお祈りします。

※当該の方は、平服（スーツネクタイ等）で時刻までに御参集下さい。



一、前夜祭

・深津一統祭 午後六時より

・竹内一統祭 午後七時より

立虫神社へ合祀された千家の客神社にゆかり深い氏子の竹内一統、古くから万九千社にゆかりある神立の深津一統が昇殿参拝します。一統挙げて感謝と祈りを捧げます。

十月二日(日)

一、大祭

本殿祭典典

(兼) 役員・総代
就任奉生口祭

午前十時より

秋祭りでも最も重要な祭典です。宮司はじめ神職・氏子代表が昇殿し、厳かに御奉仕します。

御神前に海川山野のたくさんのお供え物をして、氏神さまをおもてなしし、宮司が祝詞を奏上し、皆が玉串を捧げて感謝の気持ちをお伝えして人々の幸を祈ります。

※氏子さんのお供え、米つなぎ当番の方は、午前七時半〜九時頃までに神社へお供えし参拝下さい。

一、御神幸

と
禱練り神事

午後二時より

千家第一公民館にてお祭りの後、午後二時半前に御神輿を中心とする

行列が出発。

途中で千家の客神社の元宮へ立ち寄って一同そろって拝礼します。

そして午後四時半頃に神社前参道「一の鳥居」において、氏子の小学一年生が合流。いよいよ参道を神前へと進み、午後五時頃に神社へ帰着、還幸祭を行います。

※今年は残念ながら、疫病感染予防のため、三年ぶりとなる恒例の小学一年生がひく御神輿(おみこし)は極短時間、短距離とします。

神和会千神会の奉仕による御獅子、番内、茶立て姫などの賑々しい禱練りの行列も、御神酒の振る舞い酒をやめるなど感染防止対策をとりながら可能な内容で行う予定です。また「餅撒き」、神事華の争奪による「華くばり」は、やむを得ず中止します。

一年に一度、御神輿に遷られた氏神さまの御霊が、神立千家の地にお出ましになられます。

皆の暮らしや地域の繁栄ぶりをご覧になり、穏やかで幸の多い暮らしへとおかげを授けられる神事です。

練り歩く行列の先導役は、悪霊を祓い、大地を鎮めようと、青竹を振り回して走り回る**番内さん**。幸多かれと御神酒をふるまう**茶立姫**。無病息災を祈願し、恐い顔でゆつくり進む**御獅子**…。皆おなじみの顔触れです。

主役の氏神さまは、神和会、千親会の会員をはじめ、小学一年生が心を込めておひきする御神輿にのって進まれます。今年は、北回りの順路。夕方、神社へ到着すると、氏神さまの御霊は本殿へとお還りになり、御獅子の拝が行われます。



一、神楽奉納

午後一時半頃より夕刻まで

◆午後一時半頃〜 出雲神楽

万九千社立虫神社神代神楽社中

※氏子小学生有志五名の子供神楽

「剣舞」奉納も三年ぶり再開予定！！

◆午後二時二〇分頃〜

『浦安の舞（うらやすのまい）』

神立千家氏子小学生

女子有志



◆午後四時頃〜 保育園の神楽

『すさのおの命のやまたのおろち退治』

あい川保育園社中

◆午後五時頃〜 出雲神楽

万九千社立虫神社神代

神楽社中

神能より

『八戸（やと）』

須佐之男命の八岐大蛇退治（予定）



大切なお知らせ

その一

今年の七五三詣

例年通り、十一月十五日（火）

午前十一時より御祈念します。ほかの日時を希望なさる方は事前にお申し出下さい。詳しくは別紙ご案内状をご覧ください。社務所までお申込み下さい。

その二

宗教法人立虫神社責任役員、氏子総代の交代について

去る令和四年八月十二日、任期満了に伴います責任役員「定員五名、うち一人は代表役員（宮司）」、神社総代「定員十二名、任期三年」の交代がありました。（以下、順不同敬称略）

○退任責任役員

矢野幹雄

千家二

（昭和58年8月〜令和4年8月）

※13期39年奉務

○退任総代

妹尾富夫 神立四
(令和元年8月～令和4年8月)

※1期3年奉務

松原昭二 神立二

(令和元年8月～令和4年8月)

※1期3年奉務

小田川淳 千家一

(平成28年8月～令和4年8月)

※2期6年奉務

伊藤 武 千家四

(令和元年8月～令和4年8月)

※1期3年奉務

◆新体制◆

責任役員・総代長(新任)

山根陽一 神立一

責任役員・副総代長(新任)

(兼) 会計担当総代

竹内房雄 千家三

責任役員・総代

矢野俊之 神立二

責任役員(新任)・総代

坪倉良治 千家二

総代

湯原 稔 神立三

梶谷孝明※新任 神立四

今川宏樹 神立五

石田成志※新任 神立二

矢野秀樹※新任 千家一

矢野幹雄 千家二

竹内浩二 千家三

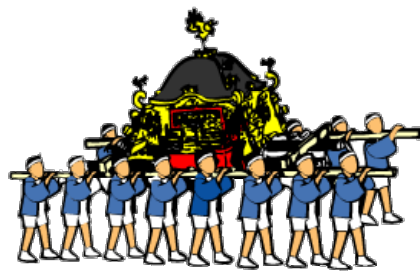
高橋俊雄※新任 千家四

退任者の方には、神社の護持運営に格別の御尽力を賜りました。

とりわけ、前総代長の矢野幹雄様は、役員の重責を約四十年にわたり果たされました。この間、昭和、平成の立虫神社の二度の御遷宮と四年前の幣殿拝殿改築事業、万九千社の平成の御遷宮、「令和の森づくり」事業の着手・推進など、歴史に残る大事業を氏子の代表として成功に導いて下さいました。

この場を借りまして長年の御労苦に深く感謝申し上げます、その一途なお姿に心からの敬意を表します。

この度、御退任なさる皆様方、本当に誠にありがとうございます。



《あとがき》▼山根陽一総代長のもと新たな総代会の体制が船出しました。▼総代の皆様には神々と神職と氏子との、そして祖先と子孫との「仲とり持ち」として格別の御奉仕をよろしくお願い申し上げます。▼これからも神職・役員・総代が一致団結し、まごころ込めて率先奉仕して参りたく存じます。▼氏子の皆様の変わらぬ御理解と御協力をよろしく願います。▼秋の大祭りが好天に恵まれ、皆様の素晴らし笑顔であふれますように…。

(文責 宮司錦田剛志)